

大月町 議会だより

96号

3月定例会

96号 大月町議会だより

も く じ

- P 4 災害対策支援本部
設置について
- P 6 本会議主な事業
- P 8 3月定例会
 - P 8 予算概要
 - P10 予算本会議質疑
 - P11 補正予算をただす
 - P12 報告・条例・契約・人事
 - P14 新年度予算審査
 - P18 一般質問
- P23 みんなの広場
- P24 こんにちは

表紙写真によせて



花開く桜よりも子供たちは砂遊びに夢中でした。花より団子ならぬ、「花より砂遊び」。

4月6日に行われた観光開き 月光桜の下で赤太鼓の演奏

『平成』から 『令和』へ

しよしゅん れいげつ きよ やわら
～初春の令月にして、気淑く風和ぎ、

きょうぜん こ ひら はいご こう かお
梅は鏡前の粉を抜き、蘭は珮後の香を薫らす～

(『令和』は万葉集の「梅花(うめのはな)の歌三十二首」の漢文で書かれた序文から引用された。)

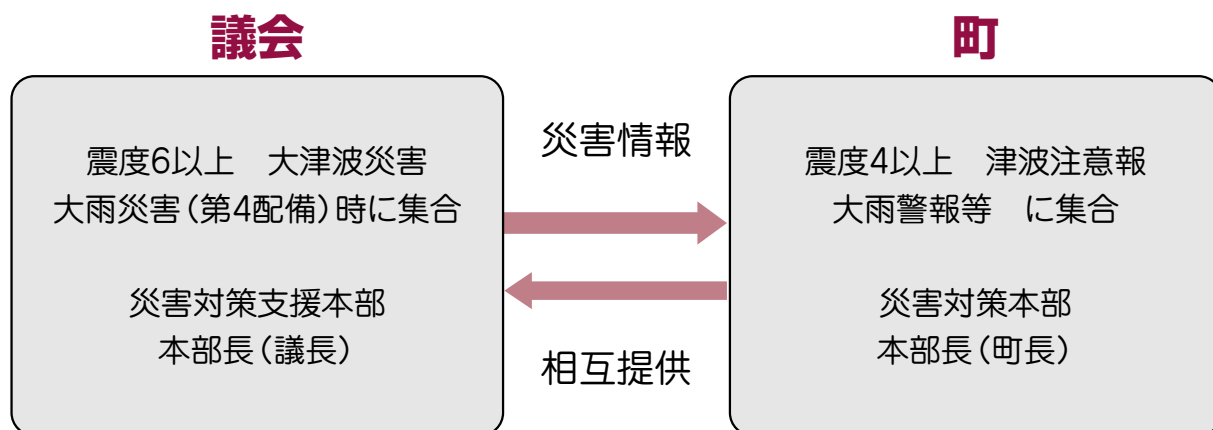


本部設置へ

行動マニュアル作成

災害対策支援本部の目的

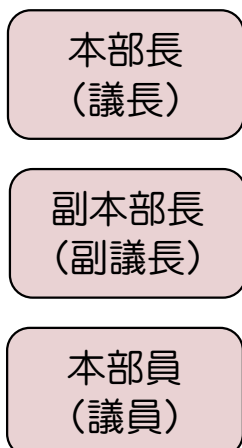
◆町災害対策本部と連携を図り、災害対策活動を側面から支援し、被害の拡大防止と災害の復旧に寄与することを目的とする。



災害対策支援本部設置後

災害対策支援本部の行動

災害対策支援本部



共同視察



- 情報収集
- 住民への情報提供
- 救護・救援活動 等

被災地

大月町議会

災害対策支援

大月町議会は、災害時における議員の行動、住民や行政に対する支援の方法を規定したものがありませんでした。そこで、議会改革特別委員会で話し合っ、「災害対策支援本部行動マニュアル」を作成し、災害時に「災害対策支援本部」を設置することとしました。

要望等一本化

◆議員は、町災害対策本部に直接問い合わせをしない。要望等は、災害対策支援本部で一本化し、本部長が町災害対策本部との連絡調整をする。

- 災害情報、各避難所の状況に関する
こと。
- 被災地域における復旧工事等の要望に
関すること。
- 国、県、関係機関に対する緊急要望の
とりまとめに関すること。
- その他、本部長が必要と判断した事項。



災害対策支援本部で
一本化



町
災害対策本部

緊急な連絡

- 土砂崩れ等により救助が必要なとき。
- 道路が陥没し事故の恐れがあるため、
緊急的に工事が必要なとき。
- 道路等のひび割れや陥没などの情報
提供が必要なとき。
- 避難所での食料等の物資が不足して
いるとき。 等

直接要望



町
災害対策本部

若者の 住みよい町へ

本年度の重要政策を承認

出産・子育て支援の充実を

保育園児（1歳～5歳児）の完全無償化



国は3歳児からの無償化を実施するが、本町は今年度10月より1歳児から保育料・給食費の無償化を実施。

出生祝い金の支給



一子につき5万円の出生祝い金を支給。

中学校入学生徒に制服費の支給



中学入学時に必要な制服及び運動着などに一人につき5万円を補助する。

統合保育所の建設及び保育所までの車道整備



統合保育所の建設及び国道321号線から保育所までの町道を新設し、園児・保護者などの利用者の安全と利便性の向上を図る。

若い世代の結婚・生活を支援

若い世代の住む場所の確保



平成30年度に姫ノ井地区に新婚・子育て世帯を対象にした地域優良賃貸住宅が完成。新たに他地区に来年度完成予定住宅の設計に着手。

結婚新生活支援事業



結婚された方が新居への引っ越しや、住居を借りる経費を上限30万円までを補助。

平成30年7月豪雨災害の復旧事業

被害総額**20億9758万円**

(内、災害復旧事業査定決定総額10億561万円)

公共土木…………… 8 億2514万円
農地・農業用施設……………9607万円
漁 港……………2661万円
水道施設……………2767万円
災害廃棄物処理場……………3012万円



3月定例会

平成31年3月定例会は7日から14日までの会期で案件を審議し、原案のとおり可決しました。

内容

補正予算8件、条例4件、当初予算9件
指定管理2件、河川指定1件
人事案件5件、契約2件 計31件

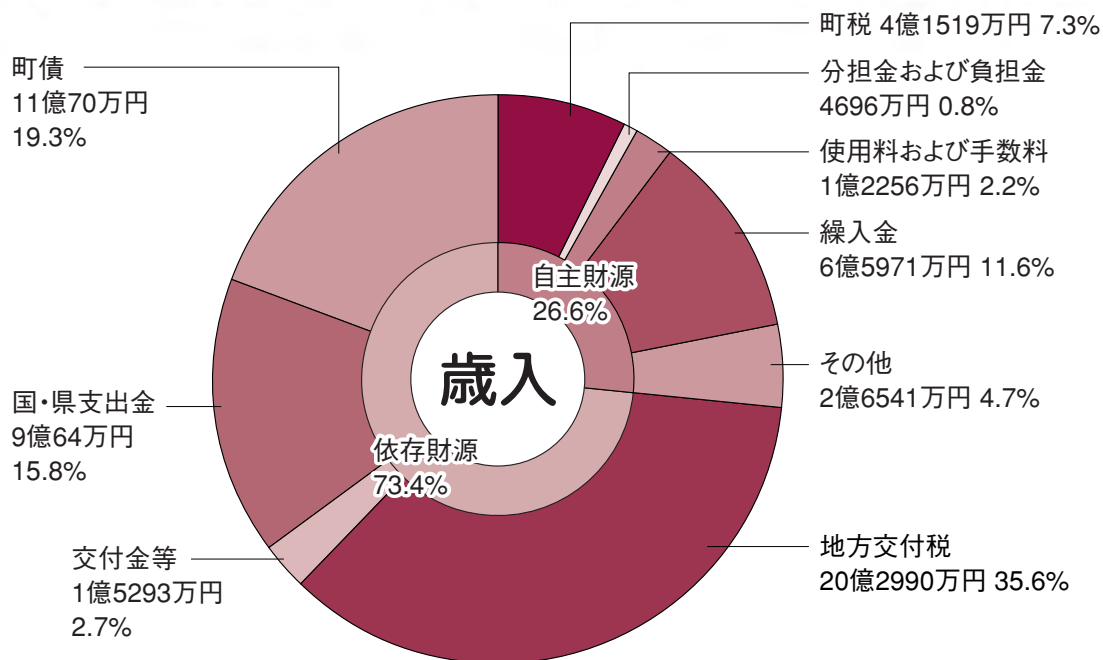
一般質問 5名
(18ページに関連記事)

当初予算の特徴

一般会計当初予算は、前年度より8億5900万円(17・8%)増の56億9400万円、一般会計、特別会計、病院事業会計を合わせた予算総額は、前年度より8億1408万円(11・1%)増の86億6199万円です。

内、災害復旧事業総額予算10億561万円となっています。

大幅予算増



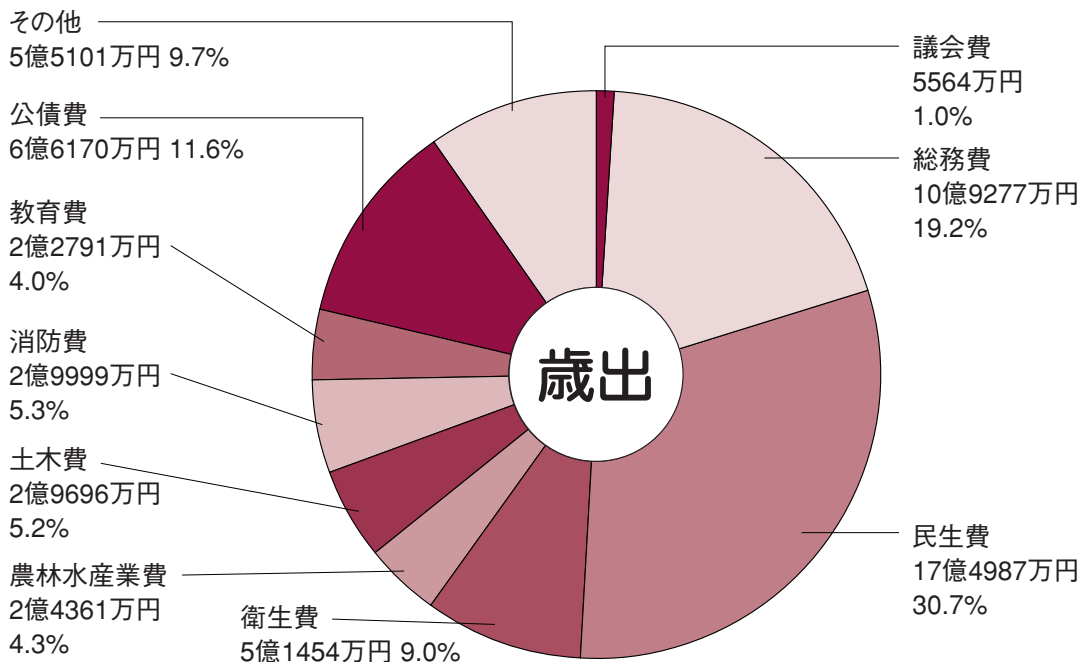
入るお金

- 町 税 : 町民税、固定資産税など町民が納める税金です。
- 繰 入 金 : 町の貯金を下ろして財源に充てるお金です。
- 町 債 : 町の事業を行うために借りるお金です。
- 国・県支出金 : 特定の事業を行うために国や県から配分されるお金です。
- 交 付 金 : 消費税、ガソリン税などから地方へ配分されるお金です。
- 地方交付税 : 公共団体の公平性を保つため、国から地方へ配分されるお金です。

災害復旧に

平成31年度当初予算

会 計 名		平成31年度	平成30年度	比 較	伸 率
一 般 会 計		56億9400万円	48億3500万円	8億5900万円	17.8%
特 別 会 計	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	3億5210万円	3億4677万円	533万円	1.5%
	国 民 健 康 保 険	9億983万円	9億9465万円	△8482万円	△8.5%
	水 道	2億3938万円	2億2470万円	1468万円	6.5%
	介 護 保 険	8億1569万円	7億9988万円	1581万円	2.0%
	漁 業 集 落 排 水 処 理 事 業	1471万円	481万円	990万円	205.8%
	後 期 高 齢 者 医 療	9551万円	9309万円	242万円	2.6%
病 院 事 業 会 計		5億4077万円	5億4901万円	△824万円	△1.5%
会 計 間 重 複 額		△5億7157万円	△5億3220万円	△3973万円	7.4%
総 額		80億9042万円	73億1571万円	7億7471万円	10.6%



使うお金

総 務 費 : 管理、企画、地域振興、ふるさと創生などに使われます。
 民 生 費 : 障害者支援、老人福祉、児童福祉などに使われます。
 衛 生 費 : 健康づくり、環境衛生、塵芥処理などに使われます。
 農林水産業費 : 農林水産業の振興に使われます。
 土 木 費 : 道路、橋、河川の改修などに使われます。
 教 育 費 : 小学校、中学校、社会教育などに使われます。

充実した予算か 本会議予算質疑



子育て支援

中平議員 要保護・準要保護小中学校生徒には助成金が予算化されているが、それ以外の生徒には助成がない。

出産祝い金は1人につき5万円、20名分の100万円の予算計上しかない。また、敬老年金にしても財政難のため5,000円に減額されている。これ等の助成にふると納税を原資とした手厚い支援対策を提案する。

答 子育て支援対策は今後の最重要課題と考えてます。子育て支援・高齢化対策は単発の政策ではなく総合的な観点から継続できる政策を目指さなければなり

ません。平成31年度予算では、保育所統合に係る子育て支援の予算に留めています。

浦木議員 保育所統合に向け保育料（給食費含む）の無償化を提唱しているが、0歳児も無償化するべきではないか。

答 保育料は3歳～5歳児は国の補助金で無償化、1歳～2歳児は国に先駆け町単独で10月1日より無償化をします。0歳児は来年度の保育所統合の段階で検討することにしていきます。

地方創生

浦木議員 第6次大月町総合振興計画では2060年の人口3008名を目指すとしているが、計画はすでに破綻しているのではないか。

答 地方創生事業は始まったばかりで40年先のことであり、今後の計画の中で目標に向かって計画修正するので、現時点での結論は時期尚早と思われる。

浦木議員 大月道の駅の多機能拠点化事業が当初予算に計上されていない。

地域医療

答 昨年7月の集中豪雨災害の復旧に重点を置いたため、本年は見送りとなりました。

浦木議員 地域医療は病気の予防・未病が最大の課題と考える。そのためには最新の医療機器の整備、施設の改修が必要である。地域の中核病院として、地域医療に貢献するために病院会計に繰り入れすべきではないか。

答 病院の医療機器も老朽化しているが、最大の課題は医師の確保です。病気の早期発見、早期治療を目的として検診なども進め、医師の獲得に努めます。

平成30年度 補正予算をただす

体育施設整備費

問 総合グラウンドトイレ新設工事について、設計を変更し、来年度また入札を行うということか。

答 旧大月分校跡地に統合保育所を建設するにあたり、併設する体育館の社会体育施設としての機能を考えています。グラウンドトイレも含め総合体育館施設として見直しが必要であろうと考え、今回見送りとして、再検討します。

臨時雇用

問 大月荘の臨時雇用について減額となっているがその理由は。

答 16名分の賃金を予算で組んでいましたが、実際は12名しか雇い入れができず、4名分減額となっています。関係機関を通じて呼びかけを行ったり、別の施設で働いていた経験者などに個別で呼びかけたりしていますが、なかなか雇用につながっておりません。今後、臨時雇用を増やし、連休が取れるよう体制作りを行ってまいります。

住宅管理費

問 住宅管理費の減額について説明を。

答 当初、周防形住宅の外壁工事を予定していたが、老朽化が激しく工法等の検討に時間を要したため、今回減額いたしました。

就業支援

問 第一次産業の振興費のうち、新規就業の支援事業費が大幅な減額となっているがその理由は。

答 新規就業については年間通し相談がありますが、研修受入れ側と研修生とのマッチングがむづかしく、就農に結びついておりません。新規就業希望者は60歳を過ぎている方が多く、45歳以下の働き盛りの方がなかなか来てくれないというのも課題です。



解体が進む旧大月分校

平成30年度 3月補正予算

会 計 名		補 正 額	総 額
一 般 会 計		△ 9 億 4 9 4 4 万円	5 6 億 5 8 2 7 万円
特 別 会 計	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	△ 1 2 2 2 万円	3 億 3 0 9 0 万円
	国 民 健 康 保 険	2 9 5 6 万円	1 0 億 3 9 4 5 万円
	水 道	△ 3 6 6 2 万円	3 億 1 6 9 9 万円
	介 護 保 険	△ 1 3 6 万円	8 億 2 1 1 8 万円
	後 期 高 齢 者 医 療	△ 1 7 9 万円	9 3 8 2 万円
	給 与 等 集 中 処 理	1 3 1 0 万円	9 億 8 4 3 1 万円
病 院 事 業 会 計		△ 6 5 0 万円	5 億 9 9 0 7 万円

条例等

契約

(全員賛成)

条例

一部改正

(全員賛成)

◇職員勤務時間、休暇等に関する条例

【内容】「正規の勤務時間以外の時間に関する必要な事項は規則で定める」とした。

◇大月町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

【内容】「地域公共交通会議委員日額4000円」を追加した。

◇大月町介護給付費準備基金条例

【内容】第6条に「その他介護保険の財政の均衡を保つために必要な財源に充てるとき」を追加した。

◇平成30年7月豪雨災害による被害者に対する町税等の減免に関する条例

【内容】平成30年7月豪雨災害被災者救済のため、平成30年度分及び平成31年4月から6月までのうち、災害を受けた以降の納税額を軽減又は免除する。

◇町道榎西線法面对策工事請負契約の締結
契約金額 7971万4800円
契約の相手 月灘建設株式会社

二級河川の指定に係る意見

(全員賛成)

◇河川の二級河川指定

高知県知事より次の河川を二級河川に指定することに意見を求められた。

名称 貝ノ川水系 谷の奥川

左岸 大月町春遠谷の奥846番地先

右岸 大月町春遠家ノ谷1583番8地先から

貝ノ川川への合流地点まで

延長 720メートル



谷の奥川

指定管理

(全員賛成)

◇大月町観光情報発信センター

認可地縁団体 柏島地区会
指定期間 平成31年4月1日より3年間

◇ふれあいパーク・大月

一般財団法人大月町ふるさと振興公社
指定期間 平成31年4月1日より3年間



柏島に完成した大月町観光情報発信センター

人 事

○大月町固定資産

評価審査委員（全員賛成）



安満地

乾 正二 氏



芳ノ沢

兼松 照章 氏



姫ノ井

竹田 耕作 氏

○大月町教育委員会委員

（全員賛成）



弘

町田 南州男 氏

○選挙管理委員

（議決順）

西 泊

弘 見

添ノ川

柏 島

（全員賛成）

依岡 良彦 氏

松本 清喜 氏

依岡 弘祐 氏

亀井紀美子 氏



依岡 弘祐 依岡 良彦 亀井紀美子 松本 清喜

○選挙管理委員補充員（全員賛成）

（第一順位）西 泊

（第二順位）頭 集

（第三順位）弘 見

（第四順位）春 遠

新谷 雄三 氏

安岡 利治 氏

西村 初美 氏

岩崎 晶功 氏

3月定例会の傍聴者は
24名でした。

次回定例会は**6月**の予定です。

傍聴のお問い合わせは
議会事務局までお願いします。
(電話：0880-73-1682)

議会傍聴手続きの変更について
傍聴する際の手続きが、傍聴人受付簿への記入から、傍聴人受付票の記入へと変わります。
傍聴をする際は、所定の位置で傍聴人受付票に「住所・氏名・年齢」を記入し、設置してあるポストに投函してから傍聴いただきます。

新年度予算審査

子育て支援

延長保育の対応は

浦木 延長保育を午前7時30分から、午後は6時30分まで行う説明があったが、その費用は有償か。

答 延長保育は11時間を超えたものは有償で考えています。午後は6時30分～7時30分までの予定です。午後8時までの要望はありません。

浦木 病児保育も実施するのか。

答 国が示している13事業で病児・病後児保育があるので、病院も隣接していないのでできません。町単独の考え方として病気・風邪が治りかけた場合には別室で受け入れるようにします。

給食費の補助は

野村 児童給食材料費621万円の算出基礎は。また、小中学校の給食費の負担者は。それらに対する補助はあるのか。

答 園児1人あたり300数十円で算出しており、2歳児もいるので小中学校よりも少し高くなります。小中学校の給食費は保護者負担です。要保護・準要保護家庭には扶助費として支給されますが保護者負担となります。

出生祝い金などを 目玉政策に

中平 出生祝金の総額100万円（1子につき5万円）とあるが総額1000万円（1子につき50万円）とし、財源にふるさと納税額を当て、目玉政策にしたかどうか。

答 出生祝い金は1子につき5万円と提示しております。教育委員会も新年度から新たな事業を実施し、児童福祉医療費助成金などで町全体の事業として手厚い支援をしていく方向で考えています。



給食を食べる子供たち

手厚い介護を

町外施設の

入居者は

浦木 老人保護措置事業委託料4691万円となっており、昨年より多くなっているが人数が増えているか。

答 昨年は白藤園12名。清香園1名の13名でしたが、今年は清香園に1名、土佐くすのき荘に2名、双名園に1名の4人の増員があり、計17名となりました。



特別養護老人ホーム大月荘

全員協議会

交通空白地の解消

安全な運行を

浦木 大月町地域路線バス車両購入費補助金1066万円の説明を。

答 西南交通の車両の老朽化により運行上の安全性も懸念されるので県の補助事業を活用



道の駅から各地区へ運航するバス

町民の足確保へ

久米 生活バスで約2400万円、スクールバスで約4100万円の支払いがある。町独自で運行していない地域に入れないか。高齢化も進む中、免許証を返納した高齢者の足として考えなければいけないのではないかと。

答 空白地有償運行制度の貨客混載事業で人と荷物(350kgまで)の混載が可能になった。本町も平成30年に対象地域となり、姫ノ井地区・高知県中山間地域対策課・運送会社等関連企業とその計画を作成中です。姫ノ井地区でひな形を作りたいと考えています。

産業振興

新たな品目の

産地化を

安原 有望品目の産地化事業で3年間の事業で本年度が120万円と言われたが、有望品目は決まっているのか。

答 有望品目の産地化事業の補助金は120万円、その品目はオリーブで1団体あります。研修にも参加して実際に植えられている方もいます。

その他、本町で栽培可能で今後伸びて行く新規の作物であれば有望品目になるかを検討して補助事業の対象にしたいと思っています。

水産業の発展を

安原 田ノ浦漁港の水産流通基盤整備事業とは。

答 製氷機が4650万円です。設置に当たり耐震のため防波堤の強化をしなければ、製氷施設は造れないとのこと。高額予算になっています。宿毛市とす

くも湾漁協と本町の3者で負担することになっています。また、田ノ浦漁港の古くなった清浄海水施設の順次更新で200万円計上しています。これも3者負担で更新します。



オリーブの苗

危機管理

備蓄品は充分か

山本 長期避難者用備蓄品の10003万円で、準備するものと常備目標の達成率は。

答 主に食料・水が基本になります。想定避難者（現在は2500名を想定）の3食7日分を目標としています。

が、現在6日分の備蓄、主菜・副菜は目標の40%、飲料水は1人1日3リットルの計算で5日分が本年度で達成予定です。また、毛布類も2年前から備蓄し4000枚を目標で、現在1700枚の備蓄です。



大月町防災備蓄第一倉庫

災害対応のできる大月病院へ

谷 災害対応できる病院にするための積算は。

答 電気と水道が絶対が必要です。電気が現在30KWしかなく、軽油を入れても1時間で補給しなければなりません。病院全てを稼働させるには200KW必要で、太陽光発電と燃料発電で賄うしかありません。建物の強度計算をしなければなりません。燃料発電に2500万円程度かかります。水槽は地震への耐久力の無いもので、ステンレスのタンクにするには1500万円程度になります。ライフラインを確保するために5000万円は必要と考えます。

一刻も早い災害復旧を

浦木 過年度発生災害復旧工事4億6036万円についての説明を。

答 本町全体の被害額が約8億円、前年度に4億円近く上げていましたので、残り分を本年度に計上しました。国からの割り当てが来なければ過年度対応になります。

小松 春遠残土処理場整備工事の1500万円は法面整備しなければ残土処理が出来ないのか。

答 土が溜まっているので前面の法面を整備しなければ、機械も入れず作業に掛かれません。また、排水路も取り付けないと下流の人たちに迷惑を掛けることになります。

廃棄船への対応は

谷 町管理漁港廃棄船処理推進事業には75万円の予算しかない。廃棄船は想定外の被害をもたらす可能性がある。廃棄船処理を早く進めるためには予算が少ないのではないか。

答 町内の沈没船は調査中です。所有者が判明するものは個人費用で処分することになりますが、現状は進んでいません。宿毛市、すくも湾漁協との3者で統一的な取り組みについて協議することになっています。



放置された廃棄船



移住相談会の様子

居住地の整備

賃貸住宅建設は

中平 3階建ての建物は建築費が高くなる。田舎の土地は地価が安いし、1戸建てはプライバシーも守れるのではないか。

【答】 街中の土地は少ないが、検討します。

久米 地域優良賃貸住宅建設事業設計委託料1000万円は何処の住宅か。

【答】 場所はまだ決まっていますが、弘見を考えています。成ヶ丘団地のような建物で予算化した測量設計委託料です。

移住者への対応は

高野 二段階移住推進事業委託料71万円、お試し滞在補助事業補助金30万円、移住支援事業補助金200万円の説明を。

【答】 二段階移住推進事業委託料は「れんけいこうち広域市圏」の中の1事業で、いきなり田舎へ移住はしにくいという人のために、1段階目に高知市まで移住し、2段階目で希望の地に移住する仕組みです。

お話し滞在補助事業補助金は、移住前の準備や検討のために本町を訪れ滞在する費用を補助するものです。移住支援事業補助金は、首都圏に在住する方が地方へ移住して就業・起業した場合の補助金です。

観光

受け入れ体制の強化へ

安岡 観光費・宿泊施設修繕費299万円及び宿泊施設整備工事429万円の内容は。

【答】 ベルリーフ大月は本町唯一の20室を有す

る宿泊施設なので、これを使用できなくなることは観光関係収入の大きな減額となります。そのための改修費です。

修繕費はベルリーフ大月と竜が浜キャンプ場の緊急修繕費として150万円、同施設の

予定している修繕箇所は149万円です。設備工事費はベルリーフ大月の客室テラスを改修する費用で、20室を毎年5室ずつ改修を実施し3年目になります。

おさる公園の管理

野村 大堂サル生息状況等調査委託料の内容は。

【答】 GPSを付け1年かけてサルの群れの行動範囲やエサの量を調査するために須崎市の研究所に委託する予定です。今後の生息調査で年間にどのくらいの頭数が増えるのか、エサの量と気候によるエサの種類などを検討し、今後は観光につなげていきたいと考えています。



観光の拠点に（ホテルベルリーフ大月）

学術の産業化

本町の活性化に繋げるべき

県内2大学と協議中／町長



山本 恒和議員

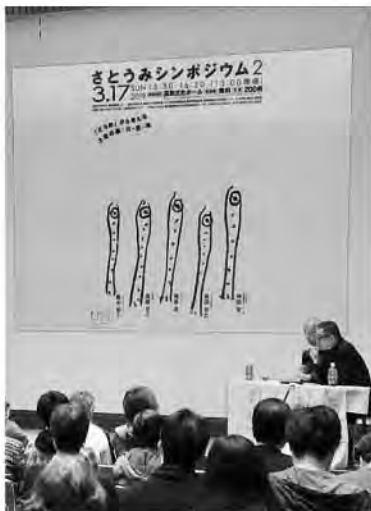
問 大学や研究所などの教育機関との連携により学術の産業化を図り、学術的なサテライト機能を有する大月町として知名度を高めることにより本町の活性化につながる。また、国内外の学術大会誘致や移住促進も絡めた政策を実施すべきではないか。

岡田町長 まちづくり推進課が高知大学と高知県立大学との連携を進めています。

高知大学とは地域協働学部や地域教育センターと、連携事業や将来的なサテライト教室へのつながりを視野に入れた協議を行っています。また、高知大学の出前公開講座を本町で開催していただき、大学とのつながりを徐々に構築していく考えです。

本町のまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標に掲げている「大月町への新しい人の流れをつくる」の中で、特に学術団体との連携による新たな学術機関等の誘致活動、新産業開拓の取り組みの強化のため、サテライト教室等の誘致活動を行うこととしており、今後も2大学を中心に協議を続けていきます。

サテライト教室とは大学などが校舎以外の場所に設置して授業などを行う施設。



環境保全シンポジウム

美化条例の制定を

県の指導の下に／町長

美化条例の制定

問 近年、本町の自然が脚光を浴び、観光客は増加傾向にある。観光客によるゴミの散乱や心ない人による大型不燃物の投棄が問題となってくる。本町の豊かな自然が汚れてしまつては観光地としての価値が失われることになる。さらに、ゴミの撤去に多大な人力と資金が必要になる。このような状況になる前に

ゴミの投棄規制や罰則に留まらず、今後の施設の建設仕様や建設方法までを規制対象とした美化条例を制定し、大月の豊かな自然と町民の生活環境を守るべきではないか。

岡田町長 観光客へのマナーの向上を促す観点から条例等の整備などの課題はありますが、まずは、町民がルールを守ることが先決だと思つていきます。観光客へのマナーの周知は観光協会の協力の下に取り組んでいきたいと考えています。

廃棄物処理及び清掃に関する法律において、何人もみだりに廃棄物を捨ててはならないと定められています。美化条例に罰則規定を盛り込むとすると、上位法との関連を高知検察庁と協議しなくてはなりません。美化条例については関係機関、県の指導を受けながら対応していきたいと考えています。



ゴミを拾う子供



白浜に放棄されたゴミ

非正規雇用

処遇改善されたか

勤務月数で処遇改善／町長

ながら、また新しい制度ができれば取り入れて改善していきたいと考えています。

岡田町長 平成29年度では、販売職員を6カ月間の雇用契約の繰り返して長年にわたり非正規で雇用している。評議委員会で協議され改善されたか。

岡田町長 平成29年度の第2回理事会・第1回評議委員会で、職員の特別手当を改善しました。常勤勤務で9カ月間以上の職員は2万円を3万円に、パート職員は1万5000円を2万円にあげて、処



高野 真司 議員

岡田町長 平成29年度に介護員、調理師、パートも含め国の施策を取り入れて処遇改善しています。今後も引き続き国の制度を利用し

岡田町長 処遇面も改善することも視野に入れた計画にしないではないと考えています。

岡田町長 道の駅の基本構想の中で、職員の処遇改善も合わせて計画を練り上げ実行することが大事だと思うが町長の考えは。

岡田町長 大月町の臨時介護職員に対して処遇改善された内容は。

岡田町長 平成29年度から3つの処遇改善を順次実施しています。賃金については、介護福祉士の資格者は月額3000円増額し7

700円に、資格のない者は2000円増額し7300円に改善しています。平成29年度から処遇改善加算を導入し、勤務実績により期末手当とは別に手当を支給しています。年次有給休暇は平成30年度から10日を20日に、特別休暇も多く取れるよう改善し、介護職員の定着を高めるようにしています。



地元の野菜が並ぶ「ふれあい市」

住宅整備計画

町営住宅整備構想は

定住人口を踏まえて／町長



快適な町営住宅へ

岡田町長 旧町営住宅はトイレなどが近代的でなく入居者に敬遠されていた。定住人口、移住対策住宅として重要な施設であると思うが、現状の住宅改修と将来の町営住宅構想は。

岡田町長 旧町営住宅は老朽化が進んでいますが、現時点ではトイレなどは維持修繕等で

対応し、将来的には建て替える計画をしなければならぬと考えています。

今後の住宅構想では何戸も一緒になった建物ではなく、居住される方も一戸建てを理想としている方もおり、将来的にはその方向が必要ではないかと考えています。

第6次大月町総合振興計画の評価と町活性化のための提案

計画は機能してきたか

順次取り組んでいる／町長



浦木 秀雄 議員

問 平成22年の大月町の人口は5893人。10年後の平成32年に人口は4838人になると予想。こうならないために人口減少を最小限に食い止められるよう全庁挙げて努力するとして、平成23年に10年計画の第6次大月町総合振興計画が作られたが、平成32年に人口は4400人前後になるうとしている。評価や改善をどのようにし、なぜ人口減少を食い止めることができなかったのか。

町長 第6次の振興計画は、人口減対策に焦点を当てた計画ではなく、本町が将来的、総合的に目指すまちづくりに関し分野ごとに方針や事業を示すものです。施策の進捗状況や計画変更は、毎年ローリングして修正をして

います。人口減少を改善することに至ってないことは承知していますが、全て一度に解決するということは難しいです。人口減少を改善することには難しく、効果が期待できないことは承知していません。事業などは順次取り組みを進めています。



美しい龍ヶ泊地区

町活性化の提案

協議させていただく／町長

問 人口減少を食い止

め、住民の生活を安定させるために次の4項目を提案する。

- ①働く場をつくる目的に絞って取り組む。
- ②産業振興課とまちづくり推進課を一つにし、

全力であたる。

- ③各課は働く場をつくる目的のための条件づくりを積極的に行う。
- ④財源として、ムクリ山・大洞山の風力発電で得られる法人税やふるさと納税などを充て

る。

これらを踏まえ、移住政策を改善しながら引き続き取り組む考えは。

町長 多岐にわたるご提案でございますが、真摯に受け止めて今後の見直しの中で協議させていただきたいと考えています。

今年度は昨年7月の豪雨災害による災害復興を最優先課題として

取り組んでおりますが、

人口減少問題や働く場づくりは重要な課題であります。2060年の人口3008人の目標に向かって全庁挙げて、社会減の0を目指し移住政策を含めた諸政策を実施すべく取り組まなければ到達できない課題であると肝に銘じております。



みごとな野菜畑

一次産業の振興

農業の再興を

最大限の支援を行う／町長

岡田町長 既存の農業

本町の農業は生産の大幅な減少、荒廃地の増加、有害鳥獣の増加などが懸念される。少子高齢化の進む中、農業の将来展望は決して明るくない。過去には農業が盛んな時代があったように、地方創生の中にも掲げている農業振興策、大月町もまだまだ再興できる。農業団体とも連携して計画を立て、推進していくことが必要ではないか。



小松 重富 議員

岡田町長 既存の農業

をどう守っていくか、また新たな農業ということも考えています。少なくともってきた施設園芸も、生産性・収益性の向上を目指して新たな環境保全型農業の推進や環境制御などの先進技術を導入した新施設園芸システムの普及を図ります。また、既存の路地野菜で高収益を上げている農家もありますが、それに次ぐ後継者・担い手等が課題であり、農業者が地域に適した有望品目の選定や産地づくりを推進し、春遠地区の集落営農組織もモデルとなるよう支援していきます。このまま農業振

興を放置しておくということは絶対ありません。

岡田町長 移住されてきた2名の方が取り組んでいます。露地野菜部門でまだ一人前になっ

トを増やすことを考え、思い切った政策で取り組んでいくべきではないか。

岡田町長 移住されてきた2名の方が取り組んでいます。露地野菜部門でまだ一人前になっ

いないため農業は自分の代で終わりだといった話が以前から聞かれています。後継者や担い手の問題は基本的には個人の問題であるが、基幹産業である農業だけに看過できないところもある。漠然とした対策でなく、若い世代を増やすため国の支援制度も活用してメリッ

本町からの新しい担い手づくりが大きな目的であるので、これは行政だけではなく、農業者の意見も踏まえながら町を挙げて取り組ま



作付けの終わった圃場

岡田町長 耕作放棄地増加の要因は高齢化と労働力不足であると思う。農業従事者を育成していく上でも、環境破壊防止の観点からも放棄地の実態を把握し、極力放棄地を発生させないような対策を考えていくことが重要である。利活用の1つとして、田畑に景観作物を植えたり、農作物では路地の有望品目も数種類ある。農業関係機関とも情報交換しながら遊休農地の有効活用の推進

なければならぬと思っています。



耕作放棄地(左)と水田(右)

に力を入れるべきではないか。

岡田町長 耕作放棄地が増えるということは大月町にとっても大きなマイナスであり、どのような作物を栽培し放棄地の解消と農業生産の維持を図っていくかが課題となります。

現在、放棄地を利用した栗の栽培を1集落に勧めています。農協も県下1つになり、新たな分野で協議し、行政と農協が一体となつて、農業振興の発展と耕作放棄地の発生防止に努力していきます。

住民の移動手段

交通空白の解消を

町全体でサービスを向上／町長



久米 里志 議員



学校への唯一のバス

問 町内のタクシー業者が1業者になると聞いた。住民の移動手段がますます不便になり、高齢者や障害のある方々が大変不安に思っている。また、来年は保育所も1園になり、月難方面・柏島方面からの交通手段についても考慮しなくてはならない。町長の考えは。

岡田町長 交通手段に影響が出るものと心配しており、業者に委託していた通園についても早急に対処していきたい。

また、新たな取り組みとして、過疎地域交通実証運行や公共交通空白地有償運送についても検討しており、県主導の貨客混載推進検討委員会、姫の里集落活動センターで検討しています。小回りの利く方法で町全体でできるサービスを図っていかねばならないと考えています。

濱崎教育長 町で運転手を臨時職員として雇い、町のマイクロバスで送迎することを考えています。

子育て支援

町独自の支援策を

各課で事業展開／教育長

問 保育支援は子どもの健やかな成長に欠かせない。来年には統合保育所も完成する。そこで、町独自の支援策の拡大を。

濱崎教育長 安心して結婚・出産・子育てができる社会構築を目指し、各課において事業を展開しています。保健介護課では保健師による妊婦検診、妊婦訪問、産前産後のケアを行っている。町民福祉課では児童見守り相談員を2名体制にし、子育て世帯を訪問し子育ての悩みや社会不安の相談を行い、家庭への支援の幅を広げていきます。

10月からは1歳児から5歳児までの保育料および給食費を完全無償化し、小学校入学時に国語辞典の配布、中学校入学時に制服・運動服などの購入助成を行います。今後は児童福祉医療について18歳まで無料化を検討したいと考えています。

介護の労働力不足

早急な対策を

町内人材を確保／町長



手厚い看護を

問 介護職やボランティアの方々の高齢化が進み労働力が不足している。早急に対策をしないと手厚い看護が町長の考えは。

岡田町長 介護労働力不足という大きな問題がテーマになってきており、早急に対応しなくてはならない時期にきています。

今年度より毎年ヘルパー講習を行い人材を確保し、大月の介護は大月の人で介護できるように体制を整えています。

みんなの 広 場

私の願い

新しい働き方

よねたに
米谷

かつし
勝市

らん
蘭

さん
さん

(一切)



光業をもっと
推奨してほしいです。観光
業と言っても
ダイビングや
釣船などは
なく、観光客
に向けた食事
やお土産物な

妻の故郷である大月
町に移住し、協力隊の
3年を経て5年目の春。

教えてくれる農家さ

んの応援もあって始め

たトウモロコシ栽培の

ほかにも、キッチンカ

ーでの移動販売やサン

ゴ漁の手伝いなど複数

の仕事を時期に合わせ

て兼業しています。

大月町には一次産業
だけでなく、夏場の観

どまだまだ可能性はい
っぱい。今の開業支援
制度は非常に使い難く、
ふるさと納税基金をも

つと有効に活用し、大

月町独自の支援制度を

積極的に作っていい

ほしいです。一つの仕

事では生計が立てづら

くても、複数の仕事を

うまく組み合わせるこ

とで可能性は広がると
思います。

後世に何を残すか

つの
津野

よしすけ
義助

さん(大浦)



私は20余年前に帰郷
し、先祖から残された
畑で細々と農業を営ん
でいます。

先輩や同輩は、今や
他界し地域の伝統や式
たりなど教える人も無
く、当地の文化伝統も
薄れてしまうのではな
いかと危惧しています。

最近、特に気になる
事は、行政の在り方に
疑問を抱いています。
当地に川があり、大雨
と高潮が重なった時に
下流の人家・畑がある

箇所が時折氾濫するこ
とがある。県土木の管
轄だと思うが、2年が
かりで嵩上げ工事をし
てくれたのは良いが、
人家側だけで対岸の畑

側(奥には人家もある)
の工事がされていない。
河川の堤防の嵩上げで
片側だけの工事で良い
ものだろうか。普通な

ら理解しがたいことで
あるが、理由があるな
らきちつと説明すべき
であろう。行政を責め
るつもりはないが、工

事の経緯も含めて施工
時の状況を正しく後世
に伝えて行かなければ
ならないと思う。これ
も、文化伝統、そして
歴史を後世に伝える一
つの方法ではないだろ
うか。

こんにちは

ふるさとへ Uターン



泊浦地区

はしもと ますほ

橋本 増穂

さん

(68歳)

大月町にUターンした泊浦の橋本増穂さんを訪ねました。

大都会へ

中卒・高卒が、金の卵とはやされた昭和の時代に金を稼ぐために、中学校を卒業して横浜で自動車修理工として働き、その後千葉の川崎製鉄へ入社され、63歳まで45年間勤めたそうです。

大月に帰る

退職を期に母親の世話をするため、ふるさと大月町泊浦に帰ってこられました。その母親を献身的に最後まで面倒見てくれたのが妻の福与さんだったそうです。

「母は102歳で亡くなりましたが、嫁には感謝しております。」とおっしゃっていました。

西日本豪雨災害

昨年7月8日朝に大月町を襲った集中豪雨で泊浦の家が床下浸水する被害を受けました。ご自身の家が被害を受けながらも、非難を呼びかけるため集落内を、笛を吹いてお年寄りの家を回ったそうです。昔みたいに警報を呼びかける独自のサインがあればいいと思いました。

趣味の釣り

泊浦漁協の組合員であつた父親のおかげで組合員として船を用意して魚釣りを楽しんでいるそうです。

泊浦老人会長として

カラオケや輪投げなどをみんなで楽しみ、社協の皆さんにはお世話してもらい、感謝しております。これから先、皆が平穏で笑って暮らせるような大月町になってもらいたいと願っていました。



釣りの相船「福竜」

編集後記

「天災は忘れた頃にやってくる」東日本大震災の緊張感が、時間の経つうちに薄れていることを思うと、このことばに秘められている意味を再び心に留め置きたいと思う。

議会も、遅まきながら災害支援のマニユアルを作ることができた。災害は起こらないことを願いたい、災害が起きたときには、住民のために議員が力を合わせて対応できる一歩にしたい。

(浦木秀雄)

議会広報常任委員会

委員長	山本 恒和
副委員長	安原 明彦
委員	浦木 秀雄
委員	野村 満久
委員	久米 里志

(取材：安原明彦)

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73・1682

印刷
有限会社 宿毛印刷